

青森県立大間高等学校学校通信

灯台

臨時便

令和2年3月26日(木)



令和2年度の人事異動が発表され、本校からは、7名の教職員が転退任することとなりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度は全校生徒を前にしての儀式ができませんので、この紙面で離任される教職員の挨拶をご紹介します。

転出される先生方におかれては本当にお世話になりました。新任地での活躍をお祈り申し上げます。

～ 転退任のご挨拶 ～

柴田 巨樹(しばたなおき)先生

(数学・教務主任・本校4年勤務)

五所川原農林高校(全)へ



4月から五所川原農林高校への異動となりました。

大間高校では4年間勤務しました。その間、私はむつ市から通っていたので、往復約100km×年間約300日×4年間、つまり通勤総移動距離は約120,000kmでした。朝は早いし、毎日1時間かけての移動で大変でしたが、4年のうちに慣れるもので、今では自然に目が覚めます。教員は学生時代からの夢だったので、やりたいことのためなら、多少大変でも頑張れるものだと思います。自分のやりたいことを見つけて、そのために頑張ってください。

4年間楽しく生活することができました。また、どこかで見かけたときは声をかけてください。ありがとうございました。



佐々木 順皓(ささきかずひろ)先生

(数学・2年主任・本校3年勤務)

木造高校(全)へ

大間高校では3年間お世話になりました。転勤を告げられて考えたことは2つ。学年(クラス)のこと、野球部のこと。

学年については、来年も担任をもち卒業まで見届けたかった思いがあり残念です。

新3年生には、まず進路目標を達成してほしいです。いつまでに、何をしなくてはいいか、先の見通しをもつこと。そして、自分から行動すること



が大切です。

野球部については、そんなに心配していません。2年生が3人しかいなかったため、チームを組めるのか、と不安もありました。

でも、1年生が多く入部してくれて、新チームでも勝てるようになり、1年生大会では結果を残し、村岡監督も残ります。「勝つ」という共通意識のもと練習に取り組みば今後大丈夫だと思います。



藤井 佑太(ふじいゆうた)先生

(商業・情報・進路・本校1年勤務)

三沢商業高校(全)へ



1年間という短い時間でしたがお世話になりました。何か残せたものはあまりないとおもいますが最後の授業だと思って聞いてもらえればと思います。

「人は他人の評価で生きていく」ということです。これは亡くなった元楽天の監督野村さんが残した言葉です。

「自分は頑張っているのに認めてもらえない」、「評価しない先生が悪い」と思いがちです。その気持ちはよくわかりますが常に謙虚に生きること、評価されないからといってふて腐れないこと。直接言われなくても一生懸命頑張っていると評価してくれる人がいます。

そして将来みなさんが他人を評価する立場になった時は、物事の1部分からではなく全体像から人を見て評価できる人間になってほしいと思います。期待しています。



橘 寿幸(たちばなしゆき)先生

(国語・渉外部主任・本校5年勤務)

八戸市立白銀中学校へ



もう十何年か前のことになりましたが、初めて下北に赴任するときに伯父に言われました。「下北の人はいい人ばかりだ。」まさにその言葉どおりで下北はとても居心地がよく、以来どっぷりとつかってしまいました。今では第二の故郷と言っても大げさではありません。

さて生徒の皆さん、いろんな方が言っていますが、大間高生のいいところは素直なところですよ。みんなそうです。人間それが一番だと思います。どこへ行ってもそれは忘れないでください。

保護者・地域の皆様、PTAや同窓会などでは特にお世話になりました。ご協力に感謝申し上げます。五年間、津軽海峡を眺めて過ごしました。四月からは太平洋です。大間高校で得たことを糧に、新任地でも頑張ります。

ありがとうございました。



本間 貴士（ほんまたかし）先生
 (体育・3年主任・本校3年勤務)
 八戸商業高校（全）へ



3年間大変お世話になりました。大間高生の良いところは成長する力が抜群な点です。私は皆さんが学校生活や授業、行事、部活などでどんどん吸収してぐんぐん成長していく姿を見て、大きなやりがいを感じることができました。また、担当していた体育の授業では、多くの生徒が主体的に行動し、周りの人を尊重する姿勢を見せてくれました。こんな大間高校で指導ができて、幸せでした。

大間高校は人生において大切な様々なことを学べる場です。自ら学ぶ姿勢を大切にして、いろんなことにチャレンジしてみましょう。そうすれば充実した学校生活になると思います。お互い頑張りましょう。



今までありがとうございました。



島守 正寿（しまもりまさとし）先生
 (教頭・本校2年勤務)

八戸中央高校（通）へ

教職員、生徒の皆さん2年という短い時間でありましたが、お世話になりました。



八戸水産高校で「水産」の教員として約30年間勤務し、初めての転勤が大間高校でした。教員になる前は、漁業会社で船員として勤めていましたので、大間に来ることがとても楽しみでした。反面、慣れない仕事・土地柄で、年甲斐も無く不安と緊張の毎日だったことも思い出されます。しかし、ある日、大間町内を歩いていると、八戸水産高校当時の教え子達から声を掛けられ、とても勇気づけられる場面がありました。また、生徒の皆さんが、とても明るく気さくに接してくれたことも、不安を解消する出来事の一つでした。さらに、地域の方々や保護者の皆様にも親切にいただきました。ありがとうございました。

さて、生徒の皆さんは、これから社会人として世の中に巣立っていきます。その時、まず考えるべきことは、人として自立すること。もう一つは、働くことや仕事を通じて社会全体と繋がりを持つということです。自立するには、自分を律することや自己責任等が求められ、厳しい道のりが続くかもしれません。しかし、社会人は働くことを通じて社会に大きく貢献し、世の中の役に立たなければなりません。

大間高校の生徒の皆さんは、この下北の大自然や人情味溢れる土地柄で育ち、大きな可能性や将来性を持っており、必ずや立派な社会人として成功できると確信していますので、自分を信じ頑張ってください。

最後に、津軽海峡で魚釣りが出来なかったことは心残りではありますが、大間高校での2年間は、私の人生にとって、とても有意義でとても貴重な時間となりました。本当に感謝申し上げます。

大間高校のますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念しお別れの言葉といたします。



Mr. Beau Gagne (ボー・ガニエ) 先生
 (外国語指導助手・本校8カ月)

ボー先生は、お父様が怪我をされ、そのお世話のため、急遽、本国に帰ることになりました。

休校中の出来事のため、お別れ会も開催せず、報告だけとなりました。



年度初め日程(予定)

- 4月 7日 (火) 新任式・表彰式・入学式
- 4月 8日 (水) 始業式・対面式・服装指導
- 4月 9日 (木) 学びの基礎診断テスト
- 4月 10日 (金) HR・教科書・副教材販売等



新型コロナウイルス感染対策について

新型コロナウイルスについて、集団感染の条件が見えてきました。次の3つの条件が重なったときに非常に危険だということです。

- ① 換気の悪い密閉空間
- ② 多くの人が密集する
- ③ 近距離(互いに手を伸ばしたら届く距離)での会話や発声

本校では、このことをふまえ、危機意識を持ち、次の点を徹底することで新年度からの授業を開始したいと考えております。(※あくまでも現時点では)

- ① 体温チェックや健康観察の徹底と記録
- ② 手洗いの徹底
- ③ 教室の定期的な換気(よどみを作らない)
- ④ 生徒の座席間隔の確保
- ⑤ 咳・熱のある生徒・教職員の自宅待機要請

但し、生徒・教職員及びその家族に感染者が発生した場合や事態の悪化・急変にともなう教育委員会からの指示等による学級閉鎖、学校閉鎖及びその他の措置がなされることもありますのでHP等を注視してください。

いずれにせよ、ご家庭におかれましても、無理な登校を避け、感染予防を徹底されますようご理解とご協力をお願いいたします。



青森県立大間高等学校

TEL0175-37-2109 / fax37-2116

